



第200号

令和6年
10月29日発行
十夜号

西光



No 仏教, No Life 門前掲示板法話
他人の過ちを説かない 責め立てない 言いふらさない

小学校の町たんけん お坊さんへのインタビュー

坊主のつぶやき

お伊勢まいり 祝『西光』200号 恩徳寺開創1300年
お知らせ

本堂電気工事 除夜の鐘・修正会 もみじの永観堂
ご逝去の報 令和7年度年忌表 後記

十夜会のご案内



浄土宗西山禅林寺派
雲龍山 西光寺 住職 大塚靈閑

〒671-0101 姫路市大塩町229番地

079-254-0351(Tel)

079-254-4142(Fax)

otsuka@saikouji-himeji.com

<https://saikouji-himeji.com/>



HP



LINE

No 仏教, No Life

門前掲示板 法話



政治家、芸能人、アスリートなどへの誹謗中傷のニュースは後を絶ちません。ネット社会の間ともいえる問題ですが、自分そんなことしないし、関係ないとは言いつれませんが。人が寄れば、他人の噂や悪口で話に花が咲いてしまうのが世の常です。

仏の道を進む者が犯してはいけない、必ず守るべき十の戒律(十重禁戒)があり、その六番目に「不説過戒」というものがあります。他人の過失を言いふらさない、他人の過ちを説かない、これは掲示板の通り。

「この度、戒律の研究をなさっている先生から上梓された御本を頂戴しました。まだ読み始めたばかりですが、そこに興味深いことが書かれてありました。戒律ということ〇〇してはいけない」という禁止令ばかりを連想しがちですが、実は〇〇のようにするのはなく、〇〇のようにするのが適当である」といったように、適切な作法や手順も説かれていて、むしろこちらの方に力点が置かれている場合が多いということ。あまり十分には知られていないところだ。なるほど。

先の「不説過戒」、仏教の辞典をひいてみると、確かに禁止令で終わっていません。続きがありました。

他人が自分に対して悪口を言い、誇る**ことがあってもこれを耐え忍び、むしろ慈悲の心を起して、相手を正しい方へ導くようにする。**

はてそんな仏のような人間になれるだろうか…

仏教は「〇〇してはいけない」というより、「〇〇しない」という宗教です。「嘘をついてはいけない」ではなく「嘘はつかない」。誰かに言われたからそうするのはなく、自身の心の中から自発的に「自分に偽らない」と律していくことが求められているのです。そもそも戒律は、神のような絶対者からの命令ではなく、人々がより良く生きる、そして皆が平和に暮らすために、互いにこれだけは心がけとして身につけようとするものです。

「人のかげ口 愚痴いわず 他人のことはほめなはれ」の精神で参りましょう。



小学生の町たんけん

大塩小学校の2年生が生活科の授業の一環で、お店や施設をたずねて、そこで働く人にインタビューをしてまわる町たんけん的一幕。

お寺は何時に開きますか？ 何時に閉まりますか？

だいたい朝6時くらいから夜6時くらいまでかな。夏はもっと早く開けますし、夜はもっと遅くまで開いています。明るくなってきたら開けて、暗くなってきたら閉めます。ちゃんと決まっていんです(^_^;)

お寺さんは何をしていますか？

そうだね、みんなが他にいったお店はお花やケーキ、ふとんや服なんかを売ってたと思うけど、お坊さんは一体何をしているだろう。それは仏さまの言葉が書かれたこのお経を読んだり、お話しをしたりしています。誰かが亡くなった時にもこのお経を読んでお参りしますよ。みんなのおじいちゃん、おばあちゃんの家に行ってお参りすることもあるよ。

お寺はなんであるのですか？

いい質問ですね！大塩の村に人が増え始めた頃に自分たちのお寺を作ろうということになったんだね。人は亡くなったら終わりじゃないんです。亡くなるとお葬式をして、そこからお墓やお仏壇でお参りをしていくんだ。でもお寺は亡くなった人のためだけじゃなくて、子供から大人までお寺でみんな集まってお話ししたり、遊んだり、勉強してたんだよ。

話を聞きながら、ノートにまとめていくのは大人でも難しい作業です。皆次々にたくさん質問してくれるのはうれしい反面、話し過ぎると子供たちがまとめきれませんし、私が話している間、子供たちの手はだいたいお留守になっていますので、ホワイトボードに書いてあげたり、書く時間をとってあげたりしています。私自身も鍛えられております。

今年は割と平和な質問が多かったように思います。過去には「お寺はいくらしますか？」「あの大きな鐘はいくらしますか？」など、ドストレートな質問があったり、やたらとプライベートを深堀りしてくる子供たちがいたり(笑)、いつも楽しいひと時を過ごさせて頂いております。お寺に少しでも親しみを持って頂ければうれしい限りです(^_^♪

お寺には1日に何人くらい来ますか？

さあ何人くらい来てくれるんだろう。お墓参りに来る方は、いちいちピンポンって鳴らさないから分からないんだけど、毎日10~20人くらいかな。8月のお盆の時は100人以上来られる日もありますよ。

お墓はいくつありますか？

お墓は外に300くらい、本堂の地下に75あります。そしてみんなで入るマンションみたいな合同のお墓が1つあって、そこには今150人くらい入っておられるよ。

お寺の中で一番大事なものは何ですか？

それは今みんなの正面にいらっしゃる阿弥陀さまという仏さまです。皆が座っているこのお堂もあの仏さまをお祀りして、守っていくために建てられたんだ。

お寺はいつからありますか？

西光寺は1549年からあります。計算できるかな？今から475年前。織田信長とか武田信玄がいた頃の戦国時代だね。そんな昔からみんなでお寺を守ってきてくれたんだ。このお寺を守っている私は住職といいます。住職は今の私で20人目になります。



インタビューの後にはお堂をご案内。いろんな仏さまを興味深く見学してくれますが、子供たちのテンションが一番上がるのが本堂地下の納骨堂。「秘密の隠し部屋や！」と喜ばれております(^_^♪

坊主のつぶやき

お伊勢まいり



夜明け前の朝5時、伊勢神宮内宮。立ち上る朝霧は神聖な場所をより厳かな雰囲気仕立てあげております。誰もいない、と書いていたら朝の散歩の方がちらほら。なんと贅沢な場所で散歩を…参道に玉砂利を踏む音が響き渡ります。

昼間は賑わいをみせるおはらい町、おかげ横丁も静寂そのもの。そんな中、暗闇の中に1件だけ営業しているお店が。赤福本店。朝5時営業開始。内宮の早朝参拝を終え、有難く赤福を頂戴しました。出来立てはお餅のやわらかさが格別(^_^)



この度は宗派の布教師の大会で伊勢に参りましたが、浄土宗を開かれた法然上人もお伊勢まいりをされています。そのゆかりの寺、欣浄寺ごんじょうじは10年程前に法然上人25霊場の巡拝で西光寺から皆様とお参りさせて頂きました。残念なことに3年前の火災によりお寺は全焼、現在はプレハブでのお参りでした。令和9年に再建予定とのこと。

人生に一度はお伊勢参りのはずが、小学校の修学旅行にはじまり、もう数回は参らせて頂いています。贅沢な話であります。

恩徳寺開創1300年

いつもお参りや定例法要でお世話になっておりますたつの市の恩徳寺さまで、開創1300年記念で秘仏のご本尊十一面千手千眼観世音菩薩の御開帳法要が執り行われ、弁事という法要のお手伝いをさせて頂く役目で出仕させて頂きました。1300年とは桁違いの歴史です。このご本尊は西国第8番長谷寺の観音さんと同じ木から作られているそうです。

法要には賑々しく70名以上のお稚児さんも参加されましたが、のどかな田園風景をバックにした稚児行列は画になります。ヤギさんも見学されていました。御開帳法要らっけいの他にも改修された三十三所堂の落慶、餅まき、音楽コンサート、キッチンカーの出店など盛りだくさんの1日でした。



祝♪ 寺報『西光』200号



先代住職が昭和48年に始めた寺報『西光』がめでたく今回200号となりました。第1号はもちろんまだ全て手書きで、刷り作業も手作業の時代。苦勞の跡が伺えます。第100号はどうだったんだろうと見返してみますと、今から23年



前のお十夜号で、ちょうど西光寺開創450年の年だったようです。上記恩徳寺さまの1300年にはとても及びませんが、あと25年後に西光寺開創500年を迎えるということです。ここまで続けてこられましたのも、読者の皆様あつてのことで、心より感謝申し上げます。これからどうぞお付き合いの程宜しくお願い致します。

お知らせ

本堂の天井の電気をダウンライトに



本堂の天井の電気をこの度、思い切って全てダウンライトに取り替えました。明るさにびっくりです。汚れやほこりがよく見えます。

LEDはもちろんのこと、調光・調色ができるためシーンに合わせた照明の演出ができるというのも素晴らしい。従来は庫裡側でスイッチ操作をしていたので、リモコン操作できるのも有難い。傘にたまった埃や虫の掃除から解放されるのもまたまた有難い。

除夜の鐘・修正会のご案内

12月31日(火)

午後11時40分頃～(午前0時半頃閉門)

もみじの永観堂

◆ 特別寺宝展

11/11(月)～12/8(日)

◆ 夜間ライトアップ

11/11(月)～12/1(日)

京都国立博物館で開催中(12月1日まで)の特別展『法然と極楽浄土』も併せてどうぞ!



ご逝去の報

大阪	楠勲さん(82歳)	令和6年9月6日寂
宮本丁	田中剛さん(74歳)	令和6年9月10日寂
高砂	乙間忠昭さん(83歳)	令和6年9月12日寂
東ノ丁	中谷セツ子さん(85歳)	令和6年9月24日寂

令和7年度 年忌表

年忌法要(法事)があたっておられる方には別途ご案内致しますが、土・日・祝の午前中をご希望の方は早めに日時をご予約下さい。

年忌	没年
1周忌	令和6年
3回忌	令和5年
7回忌	平成31年・令和元年
13回忌	平成25年
17回忌	平成21年
25回忌	平成13年
33回忌	平成5年
50回忌	昭和51年

編集後記

今年も終わりが近づいてきました。我々の業界用語ですが、法要などが無事に済むと、「この度はおかげさまで無障礙に終わることができ、感謝申し上げます」と挨拶することがあります。障礙とはもとは悟りへの障害となるもののことをいいますが、物事が滞りなく済むことを無障礙と言います。何事も無障礙に終わることが一番です。少々保守的ですが…

さて来年は巳年。最も古い仏典の一つ『スッタニパータ』に修行者のさとりへの道を「蛇が脱皮して古い皮を捨て去るようなものである」と繰り返し説かれています。過去に囚われることなく…
どうぞ良いお年を。



薬師如来を守る十二神将にはそれぞれ十二支があてられています。巳の珊底羅大将(西光寺蔵)

十夜会

日時

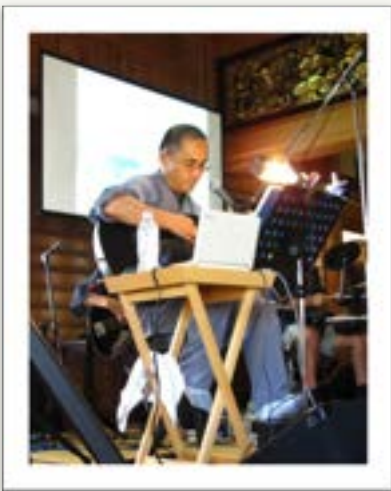
11月17日(日)

午後1時～ お勤め
午後1時半～ 塔婆回向
午後2時～ 語り唄Live
午後3時～ 塔婆回向

十夜の豆ご飯をご用意しております

とうばえこう
<塔婆回向について>

西国33ヶ所の御詠歌をあげながら、ご先祖の供養をいたします。ご希望の方は当日世話人席にてお申込み下さい。戒名(〇〇家先祖代々、分からない場合は俗名でも構いません)と施主名(お申込みの方のお名前)をメモしてお持ち頂くとスムーズです。1霊300円です。お参りの際に住職にお渡し頂いても結構です。



語り唄

山口市 法界寺住職 辻田昌次 師

副住職 木原健治 師

辻田師はいのちやこころをテーマに自作のメッセージソングにのせて、私の教えを長年届けてこられました。今もご自坊のホールで毎月「法話と音楽のつどい」を続けておられます。先代住職の第2歌集『^{せんだん}栴檀』から3首を採って曲をつけて下さったご縁で、今から12年前になりますが、西光寺で語り唄ライブをご披露頂きました。前回は自らが率いる「^{ろくやおん}鹿野苑」というバンドを引き連れてお越しになりましたが、この度は副住職の木原師とお出で頂きます。檀信徒の皆様はもとより、どなたでもお参りいただけますので、お誘いあわせてどうぞお参り下さい。

